

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主名簿管理人及び
特別口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	未払配当金の支払、支払明細等の発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 当社のホームページ (<http://www.dainichi-net.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数 100株

DAINICHI

第47期 報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

ホームページのご紹介



<http://www.dainichi-net.co.jp/>

各種IR情報、商品紹介・サポート情報から、バーチャル工場見学まで、内容を充実しております。ぜひご覧ください。

株主・投資家様
向けの情報
を随時更新し
ています。

会社の歴史も
詳しく紹介
しています。



The 47th Business Report

 **ダイニチ工業株式会社**

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より当社に対し格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます御礼申し上げます。

ここに、当社第47期事業年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の状況をご報告申し上げます。何とぞよろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

第48期におきましては、売上高185億円、営業利益16億円、経常利益16億円、当期純利益9億60百万円を見込んでおり、目標の達成に全力で取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



代表取締役会長
佐々木文雄



代表取締役社長
吉井久夫

剰余金の配当に関する基本方針

当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けております。利益水準や配当性向を考慮しつつ、中長期的な株主利益の視点から、継続的な安定配当を基本としております。

事業の全般的概況

当事業年度におけるわが国経済は、景気低迷から回復の兆しがみられましたが、自律性に弱く依然として厳しい状況にありました。

こうしたなかにあつて当社は、石油暖房機器業界全体の活性化を念頭においた活動を継続するとともに、加湿器を重点商品と位置づけて全社体制で育成に努めました。また、全社的な経費節減と徹底した製造原価低減により利益率の改善に取り組み、前事業年度で完了した在庫調整を受けて操業度が向上した生産体制で事業運営を行ってまいりました。

以上のように全社を挙げて取り組んだ結果、当事業年度における売上高は183億38百万円(前期比4.3%増)となりました。

損益面につきましては、営業利益は15億11百万円(同62.0%増)、経常利益は15億41百万円(同54.7%増)、当期純利益は9億59百万円(同143.6%増)となりました。

次期の見通し

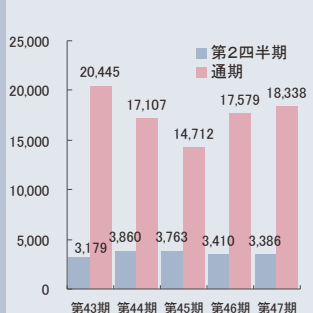
わが国経済は企業収益の改善が続き、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、海外景気の下振れ懸念やデフレの影響など、景気を下押しする状況が想定されます。

このような環境のもとで当社といたしましては、お客様から信頼され支持されることを全ての活動の基本とし、品質と製品安全の確保を重視した事業運営を行ってまいります。

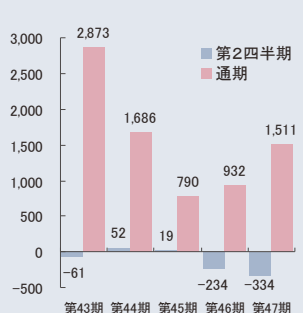
石油暖房機器は当社の主力商品として、市場において安定的な基盤を固めるとともに、加湿器を重点商品として全社体制で育成に努めてまいります。また、引きつづき製造原価低減に注力するほか、業務改善を推進してムダなコストの圧縮により企業体質の強化に取り組む所存であります。

財務ハイライト

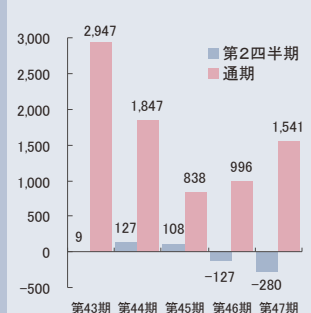
売上高 (単位:百万円)



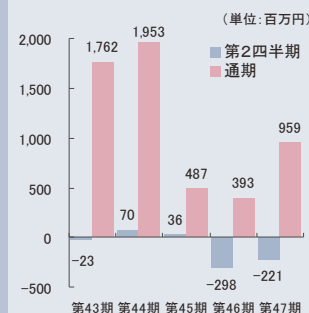
営業利益 (単位:百万円)



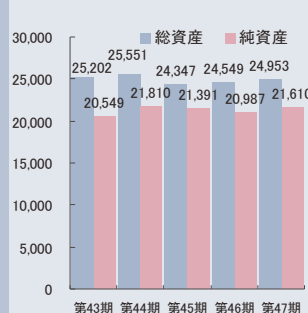
経常利益 (単位:百万円)



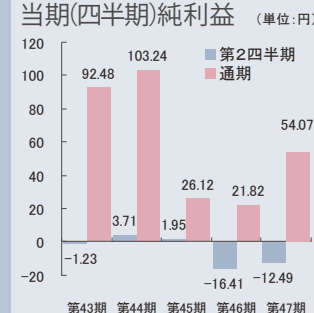
当期(四半期)純利益 (単位:百万円)



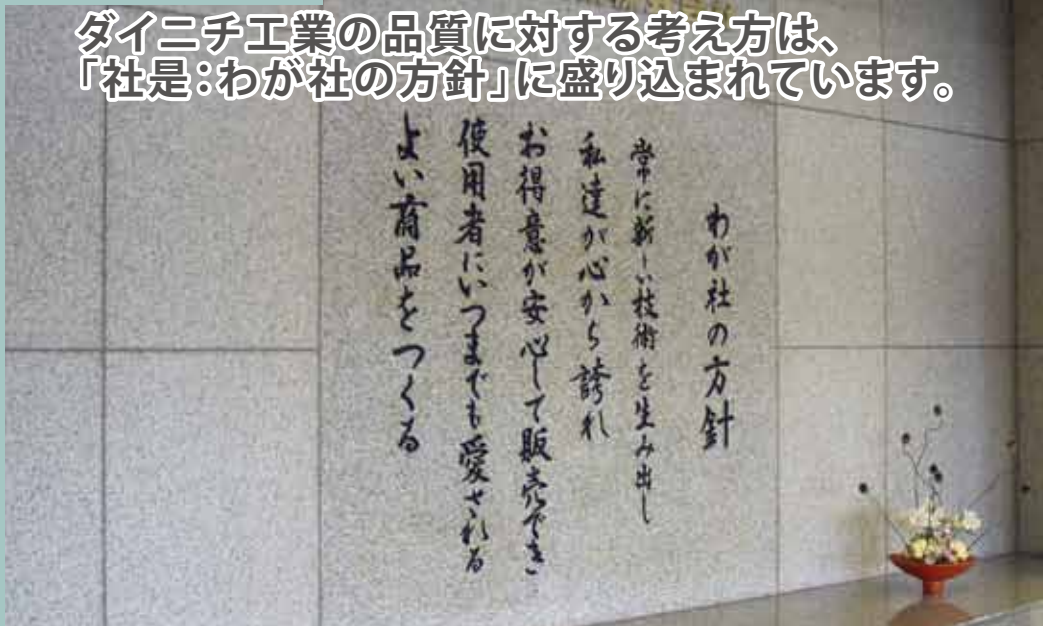
総資産/純資産 (単位:百万円)



1株当たり当期(四半期)純利益 (単位:円)



ダイニチ工業の品質に対する考え方は、「社是：わが社の方針」に盛り込まれています。



「わが社の方針」は昭和39年の創業時に佐々木文雄が制定したものです。

新しく生み出す技術を核に社会に役立つ商品を開発するとともに、商品を販売して下さる小売店様を大切に、お客様には長く愛情を持って使い続けていただきたいという思いは、当社の全ての仕事を支える基本理念となっています。

国内自社工場で一貫生産しています。

日々の生活をより快適にする商品には、高品質、使いやすく便利な機能、安全性が求められます。そのためには、設計から組立にいたるまでの目配りが不可欠です。

私たちは商品の企画・設計はもちろんのこと、主要部品の生産や最終組立、検査までを新潟の本社工場で行っています。

それは、自分たちで完成させた商品をお客様に喜んで使っていただくことがメーカーとしての喜びであると信じているからです。

また当社の約400名の従業員だけでなく、部品などを納入していただいている近隣の協力会社、商品を全国に向けて配送して下さる方々も含めると、この工場にかかわる人の数ははるかに多くなります。その方たちの家族や地域の人たちも含め、可能なかぎり多くの地元の人たちと仕事を共有したい…。そんな価値観を持った会社でありたいと思い、国内生産にこだわっています。

品切れを起こさない生産・出荷体制の構築に力を注いでいます。

当社の中心商品である石油暖房機器・加湿器はどちらも冬の限られた期間に販売される商品です。このため気候の変動は売上に大きく影響するとともに、急な寒波が来れば翌日には予定を大きく超える出荷要請が寄せられます。

この期待に応え、店頭で品切れを起こさないことが小売店様、お客様にとって一番の価値と考え、お店での商品保有状況を把握することや、当日でも生産予定機種の変更を可能とする体制を協力会社とともに構築してきました。

これも「わが社の方針」の具現化のひとつです。



石油ファンヒーターの組立作業

長く愛情を持ってお使いいただくため、アフターサービスは特に大切に考えています。

石油暖房機器や加湿器は生活必需品です。全国約500箇所のサービス指定店網は全国の小売店様と連携し、万一の故障の際でも安心なサービス体制を構築しています。

また平成10年より石油ファンヒーターで業界初の取り組みとして実施している3年保証も、お客様の高いご支持をいただいています。



ダイニチ工業の品質に対する考え方は、

一つひとつの商品にも「わが社の方針」

石油ファンヒーター

当社が石油ファンヒーター市場に本格的に参入したのは昭和55年、それまでの大型石油ストーブの技術と経験を活かして開発されたFA-32型はスイッチを入れてから40秒で着火、また二オイの少なさなど性能の良さが評価され、早くもその年に7万台を生産して当社の主力商品となりました。

石油ファンヒーターはその後も毎年改良を積み重ね、安全性や使い勝手の向上に取り組んでまいりました。

また、今年度は、給油時消火装置などの安全装置を搭載し、より安全に安心してご使用いただける商品づくりを行っています。

大容量9Lタンク搭載で
快適な使い心地のLタイプ



FW-566L



FX-32R2

暖かさにインテリア性を加えた
新しいスタイルのFXタイプ

大型石油ストーブ

創業以来石油コンロや各種バーナー、石油風呂釜などを生産していた当社が会社設立7年目の昭和46年に開発したのが、大型石油ストーブです。創業者の夢でもある「青く美しく燃える」炎を持った商品として「ブルーヒーター」という愛称がつけられましたが、これは現在の当社石油暖房機器にも使用されています。

数度のモデルチェンジでデザインも洗練され、性能・機能・使い勝手も格段に向上しています。

近年は、店舗や事務所などのほか、ご家庭でもご使用いただいております、パワフルな暖房能力に好評をいただいております。



FM-194F

オフィスからご家庭まで
広い空間を暖めるFMシリーズ

「社是：わが社の方針」に盛り込まれています。

が息づいています

ハイブリッド式加湿器

エアコン暖房の普及や高気密・高断熱住宅の増加に伴い、お部屋の乾燥対策として年々加湿器の需要が高まっています。

当社では平成15年に加湿器市場に参入、その後徐々にラインナップを加えて売上を伸ばしています。

当社商品の特長は何と言っても運転音の静かさ。またお手入れの容易さ、デザインの良さなどを含めた総合的な商品力がお客様に評価されています。

フルモデルチェンジで
スタイリッシュに
HDシリーズ500mL/hクラス



HD-5010

HD-RX309

RXシリーズ300mL/hクラスに
新色、フェアリーピンク登場

コーヒー機器

スイッチひとつで、生豆からいれる焙煎機能付きコーヒーメーカー、コーヒー豆焙煎機は、石油ファンヒーターで培った温度制御や燃焼技術を水平展開して生まれた新分野の商品です。

通販販売サイトでは、機器と生豆の販売も行っています。送料無料、お客様をお待たせしない発送体制においても「わが社の方針」が根づいています。



コーヒー機器、生豆の通販サイト
「コーヒー焙煎のカフェプロ」

手軽に本格的なコーヒーが
味わえる、焙煎機能付き
コーヒーメーカー
カフェプロ503



カフェプロ101

手軽に自分好みの味を
楽しめる、小型焙煎機

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円/千円未満切捨)

科 目	当事業年度 (平成22年3月31日現在)	前事業年度 (平成21年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	17,927,613	17,663,832
固定資産	7,026,154	6,886,061
資産合計	24,953,767	24,549,894
【負債の部】		
流動負債	2,359,243	2,680,230
固定負債	984,303	882,378
負債合計	3,343,546	3,562,609
【純資産の部】		
株主資本	21,707,120	21,169,539
純資産合計	21,610,221	20,987,285
負債純資産合計	24,953,767	24,549,894

損益計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

科 目	当事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	18,338,359	17,579,475
売上原価	13,417,670	13,339,283
売上総利益	4,920,688	4,240,192
販売費及び一般管理費	3,409,484	3,307,357
営業利益	1,511,204	932,835
営業外収益	150,452	181,713
営業外費用	120,599	118,516
経常利益	1,541,057	996,032
特別利益	68,505	6,723
特別損失	94,875	247,635
税引前純利益	1,514,687	755,120
法人税、住民税及び事業税	598,000	388,000
法人税等調整額	△ 42,386	△ 26,592
当期純利益	959,073	393,712

株主資本等変動計算書

(平成21年4月1日から
平成22年3月31日まで)

(単位：千円/千円未満切捨)

	株主資本					評価・ 換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本 合計		
平成21年3月31日残高	4,058,813	4,526,572	13,470,460	△ 886,306	21,169,539	△ 182,254	20,987,285
事業年度中の変動額							
固定資産圧縮積立金の取崩し			—		—		—
剰余金の配当			△ 321,179		△ 321,179		△ 321,179
当期純利益			959,073		959,073		959,073
自己株式の取得				△ 100,313	△ 100,313		△ 100,313
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）						85,355	85,355
事業年度中の変動額合計	—	—	637,893	△ 100,313	537,580	85,355	622,935
平成22年3月31日残高	4,058,813	4,526,572	14,108,354	△ 986,620	21,707,120	△ 96,899	21,610,221

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円/千円未満切捨)

科 目	当事業年度 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	前事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,528	5,085,794
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,593,003	△ 319,131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 421,674	△ 733,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 235	1,138
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,469,385	4,034,745
現金及び現金同等物の期首残高	10,718,009	6,683,264
現金及び現金同等物の期末残高	9,248,624	10,718,009

会社の概況 (平成22年3月31日現在)

会社概要

- **社名 (英訳名)**
ダイニチ工業株式会社
Dainichi Co., Ltd.
- **創業年月日**
昭和39年4月1日
- **資本金**
40億5,881万円
- **発行済株式の総数**
19,058,587株
- **本社・工場**
新潟県新潟市南区北田中780番地6
- **従業員数**
389名
- **取引銀行**
第四銀行 白根支店
みずほ銀行 新潟支店
三井住友銀行 新潟支店
三菱東京UFJ銀行 新潟支店
みずほ信託銀行 新潟支店

営業所

- 関東営業所 東京都千代田区 新潟営業所 新潟県新潟市
- 関西営業所 大阪府吹田市 九州営業所 福岡県福岡市
- 東北営業所 宮城県仙台市

(注) 平成22年4月1日付けで8営業所(東京、大阪、仙台、新潟、宇都宮、名古屋、広島、福岡)を整理統合し、上記の5営業所体制に変更いたしました。

取締役及び監査役

- | | |
|----------------|-------------|
| 代表取締役会長 佐々木 文雄 | 取締役 荻原 裕行 |
| 代表取締役社長 吉井 久夫 | 取締役 小林 正志 |
| 取締役 酒井 春男 | 取締役 原 信也 |
| 取締役 花野 哲行 | 常勤監査役 丸山 三孝 |
| 取締役 田村 正裕 | 監査役 樋浦 孟 |
| 取締役 佐藤 芳明 | 監査役 田中 勝雄 |
| 取締役 渡辺 美幸 | |

(注) 1. 監査役 樋浦 孟氏及び田中勝雄氏は社外監査役であります。
2. 当社は、監査役 樋浦 孟氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

株式の状況

- 発行可能株式総数 54,767,100株
- 発行済株式の総数 19,058,587株 (自己株式 1,369,309株を含む)
- 株主数 4,389名

大株主(上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビー・エッチ	1,841	10.41
財団法人佐々木環境技術振興財団	1,440	8.14
株式会社ダイニチビル	1,361	7.70
ダイニチ工業従業員持株会	1,050	5.94
株式会社第四銀行	850	4.81
吉井久夫	624	3.53
佐々木文雄	585	3.31
吉井久美子	556	3.15
渥美るみ子	391	2.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	389	2.20

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(1,369,309株)を除いて計算しております。

株式分布状況

